

【理念】

医療と福祉の連携をとり、介護員、相談員、ケアマネジャー、医師、看護師、栄養士、歯科衛生士それぞれの専門性、独自性、応用力を活かし、一貫したケアを行い入居者様が安全かつ安楽な生活を送ることが出来るように努める。

【目標】

1. 異常の早期発見に努め、早期治療と看護による施設内での体調改善を図る
 2. 皮膚トラブルの予防に努める。発生時は適切な処置を実施し早期治癒を目指す
 3. 感染症の予防と拡大防止
 4. 看取り介護の質の向上
- 1 経費削減に努める

【実践計画】

- (1) 異常の早期発見に努め、早期治療と看護による施設内での体調改善を目指す
 - ・ロング入居者様は週 1 回のバイタル測定と入浴時検温を実施、SS 利用者様は利用期間中毎日バイタル測定を行い、異常の早期発見に努める。また入院期間が短くなるよう受診判断を見極めてゆく
- (2) 皮膚トラブルの予防と改善に努める
 - ・皮膚の清潔保持、清浄化に努め、褥瘡予防と改善に努める
 - ・終末期における褥瘡を発生させない 適切な寝具の選定、予防ケアを徹底する
- (3) 感染症の予防と拡大防止
 - ・食事前のうがい手洗い、排泄後の手洗いの徹底
 - ・年間を通じて感染症発生時（インフルエンザ、ノロウイルス）のデモンストレーション形式の勉強会を行い、職員全員が適切な対応ができるよう徹底する
 - ・発生時は隔離対応、投薬、必要に応じて受診を行い、感染拡大や重症化を防ぐ
- (4) 看取り介護の質の向上
 - ・臨終までの過程を職員が把握できるよう指導し、連携を図る
 - ・状態に応じた細やかなケアの提供や指導をおこなう
 - ・ご家族の意向に添った臨終となるよう連携、調整を図る
 - ・ご家族に看取られ安らかな臨終となるよう指導、連携を図る
- (5) 経費削減に努める
 - ・衛生材料のコスト削減（購入、使用方法等）、個人購入の徹底